

＝ 令和 3 年度 ＝

摂津市教育推進プラン

摂津市教育委員会

目 次

1 . はじめに	P 1
2 . 教育推進プランの位置付け	P 1
3 . 施策体系	P 2
4 . 具体的な取組	P 5
目標 1 . 豊かな心を育む教育	P 5
目標 2 . 確かな学力を育む教育	P 8
目標 3 . 健やかな体を育む教育	P 1 3
目標 4 . 社会を生き抜く力を育む教育	P 1 5
目標 5 . とともに学び育つ教育	P 1 8
目標 6 . 学びを続ける機会づくり	P 2 1
目標 7 . 学びを支える環境づくり	P 2 4
目標 8 . 学びを活かす人づくり	P 2 7
目標 9 . 安全安心で快適な教育環境づくり	P 2 9
目標 10 . 地域全体で教育に取り組む体制づくり	P 3 3

1. はじめに

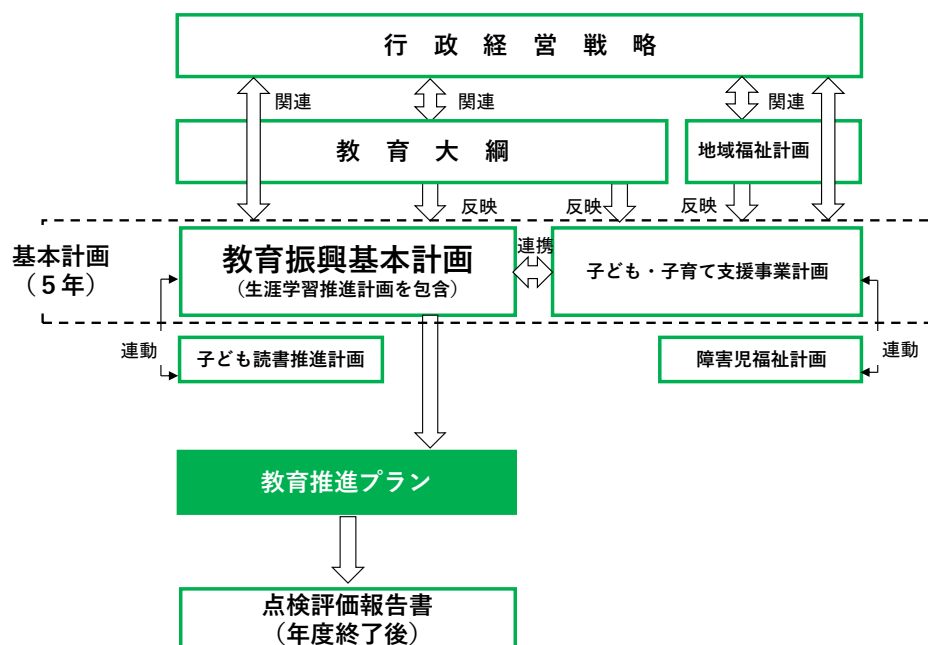
つながり 未来を拓く せつつの教育

摂津市教育大綱には教育理念として「つながり 未来を拓く せつつの教育」が掲げられています。そこには市民一人ひとりが自立した人間として、人や社会（まち）とつながりながら生きる喜びを感じ、豊かな感性と創造力を輝かせ、新しい未来を切り拓いてほしいという思いが込められています。

本市教育委員会では、この教育大綱の基本理念に基づき、中長期的な視点で教育の振興に取り組むため、摂津市教育振興基本計画を策定しました。教育推進プランは、摂津市教育振興基本計画の目標達成のためのアクションプランとして単年度に取り組む内容を計画しています。

2. 教育推進プランの位置付け

本計画は、摂津市行政経営戦略の「教育」に関する分野の計画である教育振興基本計画のアクションプランとして位置付けられており、策定に当たっては、子どもに関する他施策との整合性を図り策定しています。また、計画の進捗管理については、PDCAサイクルに基づいて行うとともに、教育委員会に属する事務の管理及び執行状況の点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を公表します。



3. 施策一覧

教育理念	基本方針	基本目標	施策	重点	事業（取組）名
つながり 未来を拓く せつつの教育	1. 一人ひとりの「生きる力」を育みます ～学校教育・就学前教育の充実～	1 豊かな心を育む教育	① 道徳教育の推進		道徳教育の充実
			② 人権教育の推進		日本語指導教育事業
					教職員人権問題研修事業
				国際理解教育推進事業	
		③ 読書活動の推進		小中学校管理運営事業	
				学校読書活動推進事業	
				学力向上推進事業	
		2 確かな学力を育む教育	④ 授業改善の推進	★	小中学校教育用コンピューター事業
					学校マネジメント支援事業
					研修事業
				学校教育相談員配置事業	
			⑤ 学習内容・学習習慣の定着	★	学力向上推進事業（再掲）
			学校マネジメント支援事業（再掲）		
		⑥ 就学前教育・小中一貫教育の推進		就学前教育推進事業	
				小中一貫教育推進事業	
		3 健やかな体を育む教育	⑦ 運動意欲の向上・基本的生活習慣の定着		運動意欲の向上及び生活習慣の改善と食育の推進
					小中学校給食事業
			⑧ 学校体育・部活動の推進		全国・運動能力、運動習慣等調査
		学校部活動等助成事業			
	4 社会を生き抜く力を育む教育	⑨ 新たな教育の推進	★	英語教育推進事業	
				小中学校教育用コンピューター事業（再掲）	
			★	キャリア教育の推進	
	5 とともに学びに育つ教育	⑩ 支援教育の推進		防災教育の推進	
			★	特別支援教育推進事業	
		⑪ 相談体制の充実		就学児指導事業	
				教育相談事業	
		⑫ 生徒指導の充実		進路選択支援事業	
★			生徒指導体制推進事業		
2. 人生100年時代の学びと活躍を推進します ～生涯学習の推進～	6 学びを続ける機会づくり	⑬ 多様な学習機会の充実		教育相談事業（再掲）	
				適応指導教室事業	
			公民館講座開催事業		
			家庭教育学級事業		
			生涯学習出前講座開催事業		
	7 学びを支える環境づくり	⑭ 学習成果の発表・活躍の場の充実		生涯学習推進本部運営事業	
				文化財保護事業	
				摂津市史編さん事業	
	⑮ 社会教育施設の活用		公民館まつり事業		
			生涯学習フェスティバル開催事業		
		こどもフェスティバル開催事業			
3. 安全で安心な学びの場をつくります ～教育環境の整備～	9 安全安心で快適な教育環境づくり	⑰ 教育施設の整備		公民館運営事業	
				図書館運営事業	
				子ども読書活動推進事業	
		⑱ 学校給食の安全衛生管理	★	青少年団体育成事業	
				青少年リーダー養成事業	
			せつつ生涯学習大学事業		
	10 地域全体で教育に取り組む体制づくり	⑰ 教育施設の整備	★	小中学校施設改修事業	
			★	小中学校通学区事業	
			★	公民館施設改修事業	
		⑱ 学校給食の安全衛生管理		図書館施設管理事業・鳥飼図書センター施設管理事業	
★			小中学校保健事業		
★			小中学校施設運営事業		
		学校マネジメント支援事業（再掲）			
⑳ 学校・家庭・地域の連携強化	★	中学校給食事業（再掲）			
		小学校給食事業（再掲）			
		学校協議会の積極的運営			
		積極的な情報発信			
		学校評価の充実			
㉑ 子どもの安全見守り活動の充実		地域学校連携活動支援事業			
		安全対策事業			
		スクールガード・リーダー配置事業			
		小中学校通学区事業（再掲）			
		地域子ども安全安心事業			

★：重点事業（施策推進にあたり、令和3年度に重点的に取り組む事業【新規事業や拡充事業等】）

4. 具体的な取組

基本目標
1

豊かな心を育む教育

授業や体験活動、学校行事等を通じて、言葉や文章、事象、自然、文化等に触れることで、人としての感性を磨き、心を豊かにします。また他者との関りを通して築く人間関係は人生を豊かにします。教育基本法第1条に基づき、教育の目的である「人格の完成」をめざし、授業や体験活動、学校行事等を通じて、他人を思いやる心や生命尊重の心、自己肯定感の向上、自制心や規範意識の向上を図り、子どもたちの豊かな心や人間性を育みます。

成果指標

	指標名	R1 実績値	R3 目標値	R7 目標値
1	「自分にはよいところがあると思う」と肯定的を回答した児童生徒の割合 ^{【◆】} （小6・中3平均）	68.2%	70.0%	77.7%
2	「人の役に立つ人間になりたいと思う」と回答をした児童生徒の割合 ^{【◆】} （小6・中3平均）	67.7%	68.7%	72.9%

R7 目標値は R1 度全国学力・学習状況調査の全国実績値とします。

施策・事業（取組）

①道徳教育の推進

答えが一つでない課題に児童生徒が道徳的に向き合い、共感性やコミュニケーション力、規範意識や人権意識など社会の一員として自立するためとなる基盤の力を育みます。

事業（取組）名	道徳教育の充実	担当課	教育支援課	
		予算額（取組内容に係る予算）	—	
取組内容	・「特別の教科道徳」の授業改善に向け、教材及び発問内容の検討、評価方法について教員対象の研修を実施する。 ・小中学校が作成する「特別の教科道徳」を要とした道徳教育の全体計画や年間指導内容実績表等により、各校の道徳教育の実施状況及び進捗状況を把握する。			
指標名	道徳教育に関する研修会開催回数	R1 実績値	R3 目標値	
		4 回	5 回	

【◆】 全国学力・学習状況調査質問紙調査における質問項目を指標としています。

②人権教育の推進

女性、子ども、高齢者、障害者、同和問題、在日外国人等にかかる人権問題に対して、児童生徒の発達段階に応じた学習を進め、身近な差別や偏見に気づく人権感覚の醸成を図ります。また、教職員の人権意識と指導力の向上を図ります。

事業（取組）名	教職員人権問題研修事業	担当課	学校教育課	
		予算額（取組内容に係る予算）	110 千円（60 千円）	
取組内容	・人権問題に対する意識・感覚を養い、人権教育に関する知識及び指導力向上のため、教職員対象の研修を実施する。			
指標名	①人権教育研修実施回数 ②市教職員アンケートで「各学校で人権教育の課題が共有され、課題に向けて指導に当たっている」と肯定的回答をした教職員の割合	R1 実績値	R3 目標値	
		①4 回 ②72.9%	①3 回 ②77.9%	

事業（取組）名	国際理解教育推進事業	担当課	学校教育課	
		予算額（取組内容に係る予算）	1,880 千円（1,880 千円）	
取組内容	・児童生徒が他国・他地域の言語や文化について、活動を通じて学び理解を深めるため、学校へ国際理解教育社会人講師★を派遣する。			
指標名	「外国人と友達になったり、外国のことについてももっと知ったりしてみたい」と肯定的回答をした児童生徒の割合【◆】	R1 実績値	R3 目標値	
		61.3%	65.5%	

事業（取組）名	日本語指導教育事業	担当課	学校教育課	
		予算額（取組内容に係る予算）	4,667 千円（4,667 千円）	
取組内容	・海外からの帰国子女及び渡日児童生徒に対し、一人ひとりの課題に応じた日本語指導及び母語指導等の支援を行うため、日本語指導講師★を派遣する。			
指標名	日本語指導講師派遣時間数	R1 実績値		R3 目標値
		761 時間		850 時間

【◆】全国学力・学習状況調査質問紙調査における質問項目を指標としています。

★の説明は 36 頁に記載しています。

③読書活動の推進

読書活動を推進し、児童生徒の言語能力を高めるとともに、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きていく力を身に付けるよう支援を行います。

事業（取組）名	小中学校管理運営事業	担当課	教育政策課	
		予算額（取組内容に係る予算）	102,517 千円（7,703 千円）	
取組内容	・新たな図書の購入、古い本の廃棄や買い替え等で学校図書館整備の充実を図り、児童生徒の主体的・意欲的な学習活動や読書活動を支援する。			
指標名	学校図書館図書標準※を達成している学校数	R1 実績値	R3 目標値	
		8 校/15 校	9 校/15 校	

※学校図書館図書標準：文部科学省が定める学校図書館が整備すべき蔵書冊数

事業（取組）名	学校読書活動推進事業	担当課	学校教育課	
		予算額（取組内容に係る予算）	18,291 千円（16,769 千円）	
取組内容	・児童生徒の発達段階に応じた図書の選定及び学校図書館の環境整備を行う。 ・学校読書活動推進サポーター★等の支援人材を各学校に配置し、児童生徒が本に親しむ機会を増やし、本を通じた言葉の学びや創造力の向上を図る			
指標名	「読書は好き」と肯定的回答をした児童生徒の割合【◆】	R1 実績値	R3 目標値	
		65.8%	68.8%	

【◆】全国学力・学習状況調査質問紙調査における質問項目を指標としています。

★の説明は 36 頁に記載しています。

基本目標
2

確かな学力を育む教育

変化の激しいこれからの社会を生きる子どもたちにとって、学校教育とは次代の社会を担うための土台作りの場です。子どもたちが社会に出てからも学んだことを生かせるように学習意欲を高め、自ら学び、主体的に行動し、よりよく問題を解決できるように、確かな学力を育みます。

成果指標

	指標名	R1 実績値	R3 目標値	R7 目標値
1	全国学力・学習状況調査の平均正答率の対全国比（全国を1とした場合）	(小6)0.91 (中3)0.93	(小6)0.93 (中3)0.94	(小6)1 (中3)1
2	「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う」と肯定的回答をした児童生徒の割合 ^{【◆】} （小6・中3平均）	63.6%	65.0%	73.5%

R7 目標値は R1 度全国学力・学習状況調査の全国実績値とします。

【◆】 全国学力・学習状況調査質問紙調査における質問項目を指標としています。

施策・事業（取組）

④授業改善の推進

学力・学習状況調査の分析をもとに、知識・技能と思考力・判断力・表現力を育むため、授業改善を中心とする学力向上の取組を行います。また、各校の課題に応じた研究活動を支援し、その成果を全校に普及します。

事業（取組）名	学力向上推進事業	担当課	学校教育課	
		予算額（取組内容に係る予算）	30,175 千円（5,500 千円）	
取組内容	・学力及び学習状況の調査結果から、各学校における児童生徒の学力課題を分析し、知識・技能の習得とそれを活用する力を育てるため、大学教授・指導主事等を招聘した研究授業を行うなど授業改善を中心とする学力向上に向けた取組を行う。 ・学習指導要領が示す目標に向け、研修支援や研修会を実施し、各校の授業づくりを支援する。			
指標名	①意識調査※（3 月実施）で「授業に主体的に取り組んでいる」と回答した児童生徒の割合 ②学年毎の同一集団で摂津市学力定着度調査※及び府中学生チャレンジテスト結果が前年度以上の学年数 ③全国学力・学習状況調査の平均無回答率の対全国比	R1 実績値	R3 目標値	
		①42.2% ②（小）70% （全 80 学年のうち 56 学年） （中）30% （全 30 学年のうち 9 学年） ③（小）1.66 （中）1.41	①45.2% ②（小）75% （全 100 学年のうち 75 学年） （中）40% （全 30 学年のうち 12 学年） ③（小）1.50 （中）1.30	

※意識調査：市教育委員会が児童生徒の学習意欲等を把握し、「魅力ある学校づくり」を進めていくために実施するアンケート調査

※摂津市学力定着度調査：市教育委員会及び各学校が児童生徒の学習の定着状況を経年変化で把握し、指導に活かすために実施する学力調査（対象：小学 1 年生から 6 年生まで）

事業（取組）名	小中学校教育用コンピュータ 一事業【重点事業】	担当課	学校教育課	
		予算額（取組内容に係る予算）	57,457 千円（49,746 千円）	
取組内容	・ICT 支援員★を各学校に派遣し、タブレット型 PC 等の ICT 機器を効果的に活用する授業の提案や支援を行う。 ・教職員の ICT 機器を効果的に活用した授業改善を進めるため、ICT 教育推進リーダー教員※を中心とした授業実践動画の配信や研修会を実施する。			
指標名	コンピューター等の ICT を活用した授業をほぼ毎日実施している割合比【◆】	R1 実績値	R3 目標値	
		10.1%	50%	

※ICT 教育推進リーダー教員：ICT 機器を使用した授業に先進的に取り組み、各学校の活用事例を他校に広めるために中心となる教員

事業（取組）名	学校マネジメント支援事業	担当課	学校教育課	
		予算額（取組内容に係る予算）	134,256 千円（7,200 千円）	
取組内容	・授業改善を進めるため、研究授業・研究協議の支援を行う。 ・研究重点校として指定した学校の取組を支援するとともに、他校への普及に向けて取組成果を発信する。			
指標名	意識調査（3月実施）で「授業がよくわかる」と回答した児童生徒の割合	R1 実績値	R3 目標値	
		46.7%	48.7%	

事業（取組）名	研修事業	担当課	教育支援課	
		予算額（取組内容に係る予算）	1,200 千円（1,200 千円）	
取組内容	・教職員の資質向上のため、各教科の授業づくりや児童生徒の発達を支える指導の充実に向け、課題別研修及び経験年数に応じたステージ別研修を実施する。			
指標名	教職員研修参加者へのアンケート「研修のねらいを達成できたと思いますか」への肯定的回答の割合	R1 実績値	R3 目標値	
		96%	98%	

事業（取組）名	学校教育相談員配置事業	担当課	教育支援課	
		予算額（取組内容に係る予算）	12,098 千円（12,098 千円）	
取組内容	・学校における様々な課題に柔軟に対応するため、学校経営サポーター★を配置し、校長及び教頭の学校運営にかかる支援を実施する。 ・学校教育相談員★を配置し、初任者等経験の浅い教員の授業づくり支援などの人材育成を図る。			
指標名	各校長が学校経営計画で掲げた最重要取組の自己評価が B（概ね達成できた）以上あると回答する学校数	R1 実績値	R3 目標値	
		—	15 校/15 校	

【◆】全国学力・学習状況調査質問紙調査における質問項目を指標としています。

★の説明は 36 頁に記載しています。

⑤学習内容・学習習慣の定着

授業中の児童生徒の学習内容の理解を促進するための支援人材を学校に配置するとともに、学習習慣の定着を図るため、地域や家庭の事情等により、学校以外で学ぶ機会が少ない児童生徒に学習支援を行います。

事業（取組）名	学力向上推進事業【重点事業】（再掲）	担当課	学校教育課	
		予算額（取組内容に係る予算）	30,175 千円（23,490 千円）	
取組内容	・小学 6 年生から中学 3 年生を対象に平日の夜、市内 5 か所で「摂津 SUNSUN 塾※」を実施する。（年間 60 回、教科は国語、算数・数学）また、高校の進学保障につなげるためにも中学 3 年生の希望者に夏期・冬期講習を実施する。			
指標名	①受講生の学力の向上（5 月現状値を 1.0 とする） ②平日及び休日に 1 時間以上学習する児童生徒の割合の増加（5 月現状値を 1.0 とする）	R1 実績値		R3 目標値
		①小 6 1.20 中 1 1.04 ②平日 0.93 休日 1.52		①小 6・中 1・2・3 の全学年 1.05 以上 ②平日・休日と もに 1.20 以上

※摂津 SUNSUN 塾：摂津市が民間委託する無料塾。保護者はテキスト代、テスト代のみ負担する。

事業（取組）名	学校マネジメント支援事業 （再掲）	担当課	学校教育課	
		予算額（取組内容に係る予算）	134,256 千円（7,400 千円）	
取組内容	・授業中や放課後を含め学校における児童生徒の学習活動を支援するため、学習サポーターを各校に派遣する。			
指標名	学習サポーター★派遣校数	R1 実績値		R3 目標値
		13 校/15 校		15 校/15 校

★の説明は 36 頁に記載しています。

⑥就学前教育・小中一貫教育の推進

子どもの学習意欲や態度の基礎となる好奇心や探求心を養うなど、生涯にわたる人間形成の基礎を培う重要な役割を担う就学前教育の充実と、小学校生活への円滑な接続を図ります。

そして、義務教育終了時点で、社会において自立して生きる力を育むために、一貫した目標のもとで9年間の義務教育を計画的に行います。

事業（取組）名	就学前教育推進事業	担当課	こども教育課	
		予算額（取組内容に係る予算）	120 千円（120 千円）	
取組内容	・公立の就学前施設の保育士や保育教諭、幼稚園教諭と小学校教諭を対象とした就学前教育の合同研修を実施する。			
指標名	研修アンケートにおける研修に対する肯定的な回答率	R1 実績値	R3 目標値	
		96.3%	95.0%以上	

事業（取組）名	小中一貫教育推進事業	担当課	学校教育課	
		予算額（取組内容に係る予算）	327 千円（80 千円）	
取組内容	・義務教育 9 年間を見据えた学習指導・生徒指導等の充実を図るため、研究授業等の相互参加や合同研修などの企画・協議を行う摂津市小中一貫教育推進協議会※を開催する。			
指標名	「中学校区の学校と授業研究など合同した研修をよく行った」と回答した学校数【◆】	R1 実績値	R3 目標値	
		7 校/15 校	9 校/15 校	

※摂津市小中一貫教育推進協議会：義務教育9年間を見据えた「めざす子ども像」の実現に向け、小中学校の一貫した教育を推進する学識、学校、市教育委員会事務局の代表により構成された協議会

【◆】 全国学力・学習状況調査質問紙調査における質問項目を指標としています。

基本目標
3

健やかな体を育む教育

人生100年時代と言われる中、子どもたちが生涯にわたって健康で充実した生活を過ごすため、運動やスポーツ活動、学校保健活動を通じた体力や運動能力の向上と、基本的生活習慣の定着を図ります。

成果指標

	指標名	R1 実績値	R3 目標値	R7 目標値
1	全国体力・運動能力、運動習慣等調査の体力合計点の対全国比【全国を1とした場合】（小5・中2平均・男女別）	(男)0.96 (女)0.94	(男)0.96 (女)0.96	(男)1 (女)1
2	全国体力・運動能力、運動習慣等調査で「運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは好きである」と回答をした児童生徒の割合（小5・中2平均・男女別）	(男)67.0% (女)45.8%	(男)67.5% (女)46.9%	(男)69.5% (女)51.2%

R7度男子目標値は、全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、R1度時点で全国実績と同値のため、さらに伸ばします。R7度女子目標値は、R1度の全国実績値とします。

施策・事業（取組）

⑦運動意欲の向上・基本的生活習慣の定着

運動意欲、体力の向上には、子どもたちの運動機会の増加と生活習慣の改善、そして何より体を動かすことが楽しいと感知することが重要です。子どもたちの健康教育・体力づくりを進め、生涯にわたる心身の健康の保持増進の基礎を培う支援を行います。

事業（取組）名	運動意欲の向上及び生活習慣 の改善と食育の推進	担当課	学校教育課	
		予算額（取組内容に係る予算）	—	
取組内容	・全国体力・運動能力、運動習慣等調査※や全国学力・学習状況調査により、児童生徒の運動習慣や生活習慣の実態を把握し、運動への興味関心を深め、体力づくりの土台となる食事・睡眠などの基本的な生活習慣の定着を図る。			
指標名	全国体力・運動能力、運動習慣等調査で「運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは好きである」と回答をした児童生徒の割合（小５・中２平均・男女別）	R1 実績値	R3 目標値	
		（男）67.0％ （女）45.8％	（男）67.5％ （女）46.9％	

※全国体力・運動能力、運動習慣等調査：子どもたちの体力向上と生活習慣改善を図るための調査。

小学5年生と中学2年生を対象に運動能力に関わる実技調査8項目と運動習慣等の質問紙調査を実施している。

事業（取組）名	小中学校給食事業	担当課	教育政策課	
		予算額（取組内容に係る予算）	464,070 千円（一）	
取組内容	・えいようだよりや学校給食通信の発行を通じ、児童生徒や保護者が日常生活において栄養バランスに配慮した食事を選択する力を育成する。 ・児童生徒自らが育てた食材を食べる食生活を体験し、楽しみながら自然の恩恵や農業への理解を深め、地域の食材の大切さや魅力の再発見を促す。			
指標	えいようだより及び中学校給食通信の発行回数	R1 実績値	R3 目標値	
		24 回	24 回	

⑧学校体育・部活動の推進

全国体力・運動能力、運動習慣等調査の分析をもとに、体力向上に向けた授業改善や体育活動を支援します。また、中学校における生徒の心身の健全な成長や社会性、団結力を高める部活動や、生涯を通じて運動に親しむ資質や能力を身につける取組の支援を行います。

事業（取組）名	全国・運動能力、運動習慣等調査	担当課	学校教育課	
		予算額（取組内容に係る予算）	—	
取組内容	・全国体力・運動能力、運動習慣等調査や全国学力・学習状況調査結果を踏まえ、体力づくり推進計画（アクションプラン）を作成し、各校の体力向上の取組や体育授業の充実を図る。			
指標名	体力合計点の府平均以上校数	R1 実績値	R3 目標値	
		6 校/15 校	8 校/15 校	

事業（取組）名	学校部活動等助成事業	担当課	学校教育課	
		予算額（取組内容に係る予算）	4,965 千円（ 2,624 千円）	
取組内容	・生徒が活動を通じて、運動や文化活動に親しみ、技術力や社会性を身に付ける部活動を支援するとともに、教職員が部活動に従事する際の負担を軽減するため部活動指導員★を派遣する。			
指標名	部活動指導員派遣校数（市内中学校）	R1 実績値	R3 目標値	
		5 校/5 校	5 校/5 校	

★の説明は 36 頁に記載しています。

基本目標
4

社会を生き抜く力を育む教育

グローバル化は我々の社会に多様性をもたらし、また、急速な情報化や技術革新は日常生活を質的にも変化させつつあります。こうした社会的変化の影響が、身近な生活も含め社会のあらゆる領域に及んでいる中で、教育の在り方も新たな事態に直面しています。子どもたちが、現在と未来に向けて、粘り強く、自らの人生を拓き、社会を生き抜く力を育みます。

成果指標

	指標名	R1 実績値	R3 目標値	R7 目標値
1	「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している」と肯定的回答をした児童生徒の割合 ^{【◆】} （小6・中3平均）	70.4%	71.3%	74.7%

R7 目標値は R1 度全国学力・学習状況調査の全国実績値とします。

【◆】 全国学力・学習状況調査質問紙調査における質問項目を指標としています。

施策・事業（取組）

⑨新たな教育の推進

子どもたちが社会の変化に柔軟に対応し、課題を自ら解決する力、グローバル化や情報化社会に対応できる言語能力や情報活用力など、自らの可能性を発揮し、よりよい社会の創り手となるための教育を推進します。

事業（取組）名	英語教育推進事業【重点事業】	担当課	教育支援課	
		予算額（取組内容に係る予算）	29,284 千円（29,284 千円）	
取組内容	・小学校から中学校への英語教育の円滑な接続のため、小中連携したカリキュラムづくりを推進する。 ・児童生徒の英語力向上及び教員の指導力向上のため、授業づくりの支援及び助言を行う外国語活動支援員★を派遣する。 ・授業時の英語を使ったコミュニケーション機会の充実のため、外国人英語指導助手（ALT）★を派遣する。 ・生徒の英語力及び学習意欲向上ため、中学 3 年生の希望者に実用英語技能検定受験料の全額を補助する。			
指標名	①英語教育に係るアンケート（市内全児童対象）で「英語を話せるようになりたい」と肯定的回答をする児童の割合 ②英語力が CEFR A1※相当以上である生徒の割合（対象：市内中学校に在籍する 3 年生）	R1 実績値	R3 目標値	
		①85.9% ②43.1%	①87.0% ②50.0%	

※CEFR：語学のコミュニケーション能力別のレベルを示す国際標準規格。CEFR A1 は実用英語検定 3 級と同程度のレベル。

事業（取組）名	小中学校教育用コンピュータ 一事業（再掲）	担当課	学校教育課	
		予算額（取組内容に係る予算）	57,457 千円（49,746 千円）	
取組内容	・児童生徒の情報活用能力を育むため、学校の ICT 環境の整備及び教員対象の ICT 機器活用研修を実施する。			
指標名	「授業でもっと ICT を活用したい」と積極的 回答をする児童生徒の割合【◆】	R1 実績値	R3 目標値	
		54.5%	59.5%	

【◆】全国学力・学習状況調査質問紙調査における質問項目を指標としています。

★の説明は 36 頁に記載しています。

基本目標 4 社会を生き抜く力を育む教育

事業（取組）名	キャリア教育の推進【重点事業】	担当課	学校教育課	
		予算額（取組内容に係る予算）	—	
取組内容	・各中学校の担当教員及び NPO 法人と連携し、将来を見据え、社会との関わりを主体的に考え行動できる力を計画的に養うため摂津市全体のキャリア教育スタンダード※を作成する。			
指標名	キャリア教育スタンダードの作成	R1 実績値	R3 目標値	
		—	キャリア教育スタンダードの完成	

※キャリア教育スタンダード：キャリア教育の推進にかかる市内学校共通の指導計画

事業（取組）名	防災教育の推進	担当課	学校教育課	
		予算額（取組内容に係る予算）	—	
取組内容	・市内各学校の取組を充実させるため、有識者による知識伝達や各校における防災教育の取組を共有するなど、担当者会を行う。			
指標名	市教職員アンケートで「防災教育の取組が進んでいる」と肯定的回答をした教職員の割合	R1 実績値	R3 目標値	
		—	R2 実績値以上	

基本目標
5

とともに学び育つ教育

障害の有無に関わらず、集団の中で互いを尊重し、違いを認め合いながら、自尊感情を高め、大切に
する態度を子ども一人ひとりに育むとともに、地域社会の一員として人や社会とつながり、支え合いな
がら、ともに学び育つ教育を推進します。

成果指標

	指標名	R1 実績値	R3 目標値	R7 目標値
1	「学校に行くのは楽しいと思う」と肯定的回答をした児童生徒の割合【◆】（小6・中3平均）	77.1%	78.5%	83.9%
2	「学級みんなで話し合って決めたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがありますか」と肯定的回答をした児童生徒の割合【◆】（小6・中3平均）	74.7%	76.5%	83.5%

R7 目標値は R1 度全国学力・学習状況調査の全国実績値とします。

施策・事業（取組）

⑩支援教育の推進

障害の有無にかかわらず、全ての人が平等に生活し、活動する社会を目指すノーマライゼーションの理念のもと、支援学級担任や教職員の専門知識や指導技術の向上を図り、子どもたちが互いに認め合う教育を推進します。

事業（取組）名	特別支援教育推進事業【重点事業】	担当課	教育支援課	
		予算額（取組内容に係る予算）	41,168 千円（41,168 千円）	
取組内容	・教員の特別支援教育に関する専門性や指導技術を育成するため、各小中学校を巡回する特別支援教育推進専門員★を派遣する。 ・学校コンサルテーション実施校※をモデル校として位置づけ、自閉症・発達障害に関する研修や個に応じた適切な指導を行い、教員の専門性向上を図る。 ・難聴の児童生徒が教室等で教員の声を聞き取りやすくするため、補聴援助システムを追加配備する。			
指標名	特別支援教育推進専門員による巡回相談の実施校	R1 実績値	R3 目標値	
		10 校/15 校	15 校/15 校	

※学校コンサルテーション実施校：専門家の指導のもと、学校全体で支援教育への取組を推進している先進校

【◆】 全国学力・学習状況調査質問紙調査における質問項目を指標としています。

★の説明は 36 頁に記載しています。

⑪相談体制の充実

児童生徒の多様性を専門家が多角的・多面的に分析し、見立てることで、学校における効果的な指導や支援の充実を図ります。また、子育て等の悩みや進学就学相談など、個々のニーズに沿った支援を行います。

事業（取組）名	就学児指導事業	担当課	教育支援課	
		予算額（取組内容に係る予算）	414 千円（414 千円）	
取組内容	・教育関係者、福祉関係者、及び必要に応じて医師等で構成する教育支援会議を開催し、児童生徒の就学先の選択や学校における支援の手立てについて適切な助言を行う。			
指標名	支援学級入級または退級、及び支援学校転学を検討する児童生徒全員について教育支援会議を開催	R1 実績値	R3 目標値	
		対象児童生徒全員について実施	対象児童生徒全員について実施	

事業（取組）名	教育相談事業	担当課	教育支援課	
		予算額（取組内容に係る予算）	30,678 千円（30,678 千円）	
取組内容	・児童生徒・保護者及び教職員からの教育や発達等に関する相談を行うため、教育センターに毎日心理相談員を配置する。 ・相談に対する早期解決に向けて、医療や福祉等の関係機関と連携する。また、発達に関する相談があった場合は、必要に応じて児童生徒の発達検査を実施し、早期支援につなげる。			
指標名	保護者からの発達検査依頼に対する実施率	R1 実績値	R3 目標値	
		100%	100%	

事業（取組）名	進路選択支援事業	担当課	教育支援課	
		予算額（取組内容に係る予算）	107 千円（107 千円）	
取組内容	・家庭の事情や経済的理由等で進学や修学が困難な生徒及び保護者に対する相談・支援を行う進路選択相談員★を教育センターに配置する。			
指標名	進路説明会における奨学金制度等の周知校数（中学校）	R1 実績値	R3 目標値	
		5 校/5 校	5 校/5 校	

★の説明は 36 頁に記載しています。

⑫生徒指導の充実

いじめ・問題行動や不登校等の状況は、その背景が複雑化しています。学校・保護者・地域とのつながりをさらに強め、関係機関とも連携して、未然防止・早期対応・再発防止に努め、全ての児童生徒の安全・安心を確保する取組を進めます。

事業（取組）名	生徒指導体制推進事業【重点事業】	担当課	学校教育課	
		予算額（取組内容に係る予算）	22,661 千円（22,661 千円）	
取組内容	・各校の生徒指導事案の重篤化の防止に向け、事案に応じた専門家の派遣やスクールロイヤー（SL）※への法律相談を実施し、問題の早期解決につなげる。 ・スクールソーシャルワーカー（SSW）★5 名を市内の 5 つの中学校区に週 4 日配置し、関係機関と連携を図りながら、問題行動等の早期対応・解決につなげる。			
指標名	①暴力行為発生件数 ②いじめ認知件数※ ③不登校児童生徒数	R1 実績値		R3 目標値
		①119 件 ②96 件 ③141 件		①R1 比 10%減 （107 件） ②R1 比 10%増 （105 件） ③R1 比 10%減 （127 件）

※いじめ認知件数の指標設定の考え方：いじめ認知は、些細な事案も見逃さず早期に発見し対応することが重要であるため、目標値の設定を増加させている。

※スクールロイヤー（SL）：学校で発生する様々な問題において、子どもの最善の利益を念頭に置き、法的観点から継続的に学校に助言を行う弁護士

事業（取組）名	教育相談事業（再掲）	担当課	教育支援課	
		予算額（取組内容に係る予算）	30,678 千円（30,678 千円）	
取組内容	・全小学校に週 1 日（学校規模に応じ週 2 日）スクールカウンセラー（SC）★を配置する。 ・課題に対して早期にチーム対応を行うため、学校からの要望に応じて、心理相談員を教育センターから派遣する。			
指標名	学校におけるケース会議への関与率	R1 実績値	R3 目標値	
		100%	100%	

事業（取組）名	適応指導教室事業	担当課	教育支援課	
		予算額（取組内容に係る予算）	7,218 千円（7,218 千円）	
取組内容	・不登校の児童生徒に対する自立支援のため、パル（適応指導教室）での指導や小中学校へのさわやかフレンド★派遣を実施する。			
指標名	全欠の不登校児童生徒の割合	R1 実績値	R3 目標値	
		0.24%	0.12%	

★の説明は 36 頁に記載しています。

基本目標
6

学びを続ける機会づくり

教育基本法第3条では、「国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。」と生涯学習の理念が規定されています。「いつでも、どこでも、だれでも、自由に」学習ができるよう、市民にあらゆる学習の機会を提供します。

成果指標

	指標名	R1 実績値	R3 目標値	R7 目標値
1	公民館講座アンケートで「これからも受講を継続したい」と回答した割合	— (*)	70%	R3 実績値より増加

施策・事業（取組）

⑬多様な学習機会の充実

多様化するニーズに合わせた講座やイベント等の充実や学びのきっかけとなる情報提供及び相談体制の充実など、市民が学びつづける機会づくりを推進します。また郷土摂津を知り、地域の将来像を描くツールとして、本市の歴史をまとめた「新修摂津市史」を刊行します。

事業（取組）名	公民館講座開催事業	担当課	生涯学習課	
		予算額（取組内容に係る予算）	3,057 千円（3,057 千円）	
取組内容	・生活必需品となったスマホに関する講座や子どもの積極性を育む講座等の市民のニーズに合わせた講座を開催する。 ・子育て世帯が参加しやすい曜日や時間設定を工夫する等世代・年齢を問わず学習できる機会を提供する。 ・講座の受講の様子等を公民館内のモニターで流し、新規の受講促進を図る。			
指標名	公民館講座アンケートで「これからも受講を継続したい」と回答した割合	R1 実績値	R3 目標値	
		—（*）	70%	

（*）アンケート実績がないため、R3 度に新規アンケートを行います。

事業（取組）名	家庭教育学級事業	担当課	生涯学習課	
		予算額（取組内容に係る予算）	566 千円（566 千円）	
取組内容	・親をはじめとする大人が、家庭教育の重要性、家庭と社会とのつながり、家庭における人権問題について学習するため、家庭教育学級・幼児家庭教育学級・女性学級を開設する。 ・説明会の実施や市役所窓口にチラシを設置し、学級を開設する団体及び参加者募集の周知を図る。			
指標名	家庭教育学級アンケートで「今後の暮らしに活かせる」と回答した受講者の割合	R1 実績値	R3 目標値	
		—（*）	70%	

事業（取組）名	生涯学習出前講座開催事業	担当課	生涯学習課	
		予算額（取組内容に係る予算）	—	
取組内容	・登録市民講師や市の職員が直接出向いて学習機会を提供する「まいどおおきに出前講座」を実施する。			
指標名	行政編受講者アンケートで「非常に満足」回答した割合	R1 実績値		R3 目標値
		54%		60%

事業（取組）名	生涯学習推進本部運営事業	担当課	生涯学習課	
		予算額（取組内容に係る予算）	30 千円（30 千円）	
取組内容	・社会教育関係者と行政職員を対象とし、生涯学習を推進していくための研修会を実施する。			
指標名	研修会参加者アンケートで「学びの場となった」と回答した割合	R1 実績値		R3 目標値
		—（*）		70%

事業（取組）名	文化財保護事業	担当課	生涯学習課	
		予算額（取組内容に係る予算）	3,134 千円（3,134 千円）	
取組内容	・市内から出土及び寄贈を受けた文化財関連資料を収蔵・整理・保存を進める。 ・市内公共施設で文化財等の展示会を実施し、郷土摂津に対する市民の学びを高める。			
指標名	文化財関連資料収蔵数	R1 実績値	R3 目標値	
		4,134 点	4,300 点	

（*）アンケート実績がないため、R3 度に新規アンケートを行います。

事業（取組）名	摂津市史編さん事業	担当課	生涯学習課	
		予算額（取組内容に係る予算）	39,846 千円（39,846 千円）	
取組内容	・ 歴史資料 10 万点のなかから解説を終えたものに焦点をあて編さんした、創刊号となる『新修摂津市史 自然地理・先史・古代・中世編』を刊行する。 ・ 『新修摂津市史 近世・近代編』第 2 巻の編さんを進める。 ・ 市民への一般公開に向けて、歴史資料の収集・整理・保存を進める。			
指標名	①『新修摂津市史 自然地理・先史・古代・中世編』の刊行 ②本市に関連した歴史資料保存数	R1 実績値	R3 目標値	
		①— ②39,000 点	①刊行済 ②41,000 点	

基本目標
7

学びを支える環境づくり

教育基本法第3条や社会教育法第3条に基づき、生涯を通じた学びを継続するため、学習成果を活かす機会の充実など、人と人との互いに学び、高め合う環境づくりに取り組みます。またニーズの多様化に対応した学習の場が提供できるよう、社会教育施設の有効な活用を図ります。

成果指標

	指標名	R1 実績値	R3 目標値	R7 目標値
1	公民館利用者アンケートで「また利用したい」と回答した割合	— (*)	70%	R3 実績値より増加
2	図書館利用者アンケートで「また利用したい」と回答した割合	— (*)	70%	R3 実績値より増加

施策・事業（取組）

⑭学習成果の発表・活躍の場の充実

学習意欲向上のため、イベントや講座等で日頃の学習成果の発表の場を充実します。また、市内で開催されている講座やボランティア活動等の情報を発信するとともに、身に付けた知識・技能を活かし、人が学び合いお互い高め合う継続した学びを支援します。

事業（取組）名	公民館まつり事業	担当課	生涯学習課	
		予算額（取組内容に係る予算）	160 千円（160 千円）	
取組内容	・公民館の利用団体（公民館登録クラブ等）が日頃の活動の成果を展示・発表し、地域住民と相互交流を行うことで、地域の活性化を図る。			
指標名	公民館まつり参加団体アンケートで「活動の成果を発揮できた」と回答した割合	R1 実績値	R3 目標値	
		—（*）	70%	

事業（取組）名	生涯学習フェスティバル開催事業	担当課	生涯学習課	
		予算額（取組内容に係る予算）	1,356 千円（1,356 千円）	
取組内容	・生涯学習フェスティバルを開催し、参加団体の日頃の活動成果を発表し、地域の活性化を図る。			
指標名	生涯学習フェスティバル参加団体アンケートで「活動の成果を発揮できた」と回答した割合	R1 実績値	R3 目標値	
		—（*）	70%	

(*) アンケート実績がないため、R3 度に新規アンケートを行います。

事業（取組）名	こどもフェスティバル開催事業	担当課	生涯学習課	
		予算額（取組内容に係る予算）	3,493 千円（3,493 千円）	
取組内容	・大正川河川敷を中心に、子どもたちの体験・学習発表の場として、こどもフェスティバルを開催する。			
指標名	こどもフェスティバル参加者数	R1 実績値		R3 目標値
		13,000 人		13,500 人

⑮社会教育施設の活用

公民館は、生涯学習活動及び地域コミュニティ活動の拠点として、より多くの市民が活用できるよう、空室の有効活用等を行います。また、市民図書館及び鳥飼図書センターの図書館サービスの充実を図り、地域全体の教育向上に資する展開を行います。

事業（取組）名	公民館運営事業	担当課	生涯学習課	
		予算額（取組内容に係る予算）	34,920 千円（34,920 千円）	
取組内容	・利用者の利便性向上のため、公民館に設置する備品及び図書の充実を図る。 ・公民館の空室の一部を市民が利用できる自習室として開放する。			
指標名	公民館利用者アンケートで「また利用したい」と回答した割合	R1 実績値		R3 目標値
		—（*）		70%

事業（取組）名	図書館運営事業	担当課	生涯学習課	
		予算額（取組内容に係る予算）	132,422 千円（ 132,422 千円）	
取組内容	・ 地域全体の教育の向上に資する展開を行うため、公立図書館のサービスの充実を図る。 ・ 図書館資料の収集、市民の読書環境及び学習の場を提供する。 ・ 電子図書導入に向けた取組を行う。			
指標名	図書館利用者アンケートで「また利用したい」と回答した割合	R1 実績値		R3 目標値
		—（*）		70%

（*）アンケート実績がないため、R3 度に新規アンケートを行います。

事業（取組）名	子ども読書活動推進事業	担当課	生涯学習課	
		予算額（取組内容に係る予算）	—	
取組内容	・おはなし会、ビブリオバトル※、ぬいぐるみお泊り会※等の子どもを対象としたイベントを実施するとともに、中学生向けのおすすめ書籍の紹介等を行い、家庭における読書活動及び図書館利用を推進する。			
指標名	子ども（0歳～18歳）の図書館利用者登録率	R1 実績値	R3 目標値	
		27.4%	30.0%	

※ビブリオバトル：参加者が、それぞれの選んだ本の面白さについてプレゼンテーションを行い、一番読みたくなった本を投票して決定する書評合戦。

※ぬいぐるみお泊り会：子どもたちのお気に入りのぬいぐるみが図書館で過ごす様子を撮影し、レポートすることで、本への関心を持ってもらうことを目的としたイベント。

（*）アンケート実績がないため、R3 度に新規アンケートを行います。

基本目標
8

学びを活かす人づくり

「いつでも、どこでも、だれでも、自由に」学習し、学習成果を活かす機会の充実を図り、生涯学習活動の活性化だけでなく地域での活躍につなげる、学びを市民一人ひとりが活かす人づくりを推進します。

成果指標

	指標名	R1 実績値	R3 目標値	R7 目標値
1	生涯学習大学受講者アンケートで「教養を深めることができた」と回答した割合	— (*)	70%	R3 実績値より増加
2	生涯学習大学受講者アンケートで「今後、地域や社会活動に役立てたい」と答えた割合	— (*)	70%	R3 実績値より増加

施策・事業（取組）

⑩多様な主体による指導者の育成

講座などをきっかけとした仲間づくり、絆づくりを進め、「学ぶ人」から「指導者」への学習活動の担い手を育成します。また、地域における学習活動の活発化を図るため、地域・団体活動のリーダー、コーディネーター、ボランティア等の人材を育成します。

事業（取組）名	青少年団体育成事業【重点事業】	担当課	生涯学習課	
		予算額（取組内容に係る予算）	2,790 千円（2,000 千円）	
取組内容	・ 青少年の健全な成長を目指して、地域で主体的に活動する団体の活動を支援する。 ・ 淀川わいわいガヤガヤ祭の運営を支援し、鳥飼地区の活性化を図る。			
指標名	淀川わいわいガヤガヤ祭の来場者数	R1 実績値	R3 目標値	
		6,500 人	7,000 人	

事業（取組）名	青少年リーダー養成事業	担当課	生涯学習課	
		予算額（取組内容に係る予算）	2,908 千円（2,908 千円）	
取組内容	・小学生を対象に青少年リーダー育成を目的とするチャレンジャークラブ夏冬のキャンプの実施、及び冒険プログラム講習会を実施する。			
指標名	青少年リーダー養成事業参加者アンケートにて「楽しかった」と答えた割合	R1 実績値	R3 目標値	
		—（*）	70%	

（*）アンケート実績がないため、R3 度に新規アンケートを行います。

事業（取組）名	せつつ生涯学習大学事業	担当課	生涯学習課	
		予算額（取組内容に係る予算）	471 千円（471 千円）	
取組内容	・生涯学習リーダーやコーディネーターを養成するため、生涯学習大学、生涯学習大学院を開催する。			
指標名	生涯学習大学受講者アンケートで「教養を深める ことができた」と回答した割合	R1 実績値		R3 目標値
		—（*）		70%

（*）アンケート実績がないため、R3 度に新規アンケートを行います。

基本目標
9

安全安心で快適な教育環境づくり

子どもたちが1日の大半を過ごす学校や社会教育施設等において、安全安心で快適な教育・生活環境となるよう整備するとともに、災害時に地域住民の避難所として活用できるように、防災機能の強化を図ります。

成果指標

	指標名	R1 実績値	R3 目標値	R7 目標値
1	保護者アンケートで「学校は安全安心に配慮した施設・設備・環境を整えている」と肯定的回答をした割合	— (*)	70%	R3 実績値より増加

施策・事業（取組）

⑰教育施設の整備

老朽化が進む施設の改修や、安心安全で快適な教育環境・生活環境の整備、地域住民の避難所としての防災機能の強化を図ります。また児童生徒のより良い教育環境を整えるため、学校規模及び配置の適正化を図ります。

事業（取組）名	小中学校施設改修事業【重点事業】	担当課	教育政策課	
		予算額（取組内容に係る予算）	334,777千円（334,777千円）※	
取組内容	・改修計画に基づき鳥飼北小学校のトイレ改修工事を行い、児童生徒の学習の場・生活の場を確保する。 ・味生小学校、第二・三中学校の校舎全体のLED照明工事を実施及び別府・鳥飼西小学校、第一中学校のLED照明工事にかかる実施設計を行い、学習環境の向上及び環境負担の低減を図る ・熱中症対策のため、小中学校の体育館エアコン設置に向けた基本設計を行うとともに、鳥飼北小学校・第三中学校体育館エアコン設置にかかる実施設計を行う。 ・児童数増加に対応するため、千里丘小学校の増築・改築案から方針を選定し、基本設計を行う。			
指標名	①小中学校トイレの便器の洋式率 ②校舎全体の照明のLED化が完了した学校数	R1実績値	R3目標値	
		①47.0% ②0校/15校	①54.0% ②3校/15校	

※予算額のうち令和2年度補正（繰越）260,404 千円

（*）アンケート実績がないため、R3 度に新規アンケートを行います。

事業（取組）名	小中学校通学区事業【重点事業】	担当課	教育政策課	
		予算額（取組内容に係る予算）	28,775 千円（5,000 千円）	
取組内容	・鳥飼地域の児童数減少に対応するため、学校規模と配置の適正化を検討する基礎調査及び保護者対象アンケートを実施し、現状分析を行う。			
指標名	鳥飼地域における今後の学校規模と配置の適正化の調査を完了する。	R1 実績値	R3 目標値	
		—	調査の完了	

事業（取組）名	公民館施設改修事業【重点事業】	担当課	生涯学習課	
		予算額（取組内容に係る予算）	251,730千円（251,730千円）※	
取組内容	・避難所としての機能や利用者の利便性の向上のため、老朽化が進む安威川公民館の外壁や空調等のリニューアル工事を実施する。			
指標名	「公民館の設備や機器について」満足・ほぼ満足と答えた割合	R1 実績値	R3 目標値	
		—（*）	70%	

※予算額のうち令和2年度補正（繰越）244,715 千円

事業（取組）名	図書館施設管理事業・鳥飼図書センター施設管理事業	担当課	生涯学習課	
		予算額（取組内容に係る予算）	1,853 千円（ 1,853 千円） 683 千円（ 683 千円）	
取組内容	・安心・安全に施設を利用してもらうため、定期的な施設点検及び不具合箇所の修繕を実施する。			
指標名	「図書館の設備や機器について」満足・ほぼ満足と答えた割合	R1 実績値	R3 目標値	
		63.3%	70%	

（*）アンケート実績がないため、R3 度に新規アンケートを行います。

⑩感染症の予防・対策

学校は児童生徒が集団生活をしており、また新型コロナウイルスをはじめとする感染症が発生、拡大しやすい状況であるため、学校の新しい生活様式に沿って、感染予防及び対策を図ります。

事業（取組）名	小中学校保健事業【重点事業】	担当課	教育政策課	
		予算額（取組内容に係る予算）	56,435 千円（56,435 千円）	
取組内容	・新型コロナウイルス感染症感染拡大予防対策のため、普通教室などに感染症予防備品を設置する。 ・児童生徒の心身の健康を守り、学校の安全安心を確保するため、「学校欠席者情報収集システム」の情報を迅速に市内全小中学校、幼稚園、認定こども園に発信し、感染症予防を図る。			
指標名	学級閉鎖学級数	R1 実績値		R3 目標値
		42 学級		41 学級以下 （R1 実績値以下）

事業（取組）名	小中学校施設運営事業【重点事業】	担当課	教育政策課	
		予算額（取組内容に係る予算）	371,534 千円（5,363 千円）	
取組内容	・業者によるトイレ清掃を、週 1 回各校で実施し、新型コロナウイルス感染症感染拡大予防を図る。			
指標名	児童生徒アンケートで「安心してトイレが利用できている」と肯定的回答をするの割合	R1 実績値	R3 目標値	
		—（※）	70%	

事業（取組）名	学校マネジメント支援事業	担当課	学校教育課	
	【重点事業】（再掲）	予算額（取組内容に係る予算）	134,256 千円（17,741 千円）	
取組内容	・各校 1 名ずつ配置していたスクールサポーターをさらに増員し、学校内の消毒作業等を行い、新型コロナウイルス感染症感染拡大予防を図る。			
指標名	スクールサポーター派遣人数（小中合計）	R1 実績値	R3 目標値	
		7 人	31 人	

（*）アンケート実績がないため、R3 度に新規アンケートを行います。

⑨学校給食の安全衛生管理

小学校給食は小学校給食調理場の衛生管理を徹底し、食の安全を確保します。中学校のデリバリー方式選択制給食は継続実施し、並行して、全員喫食を目標とした給食センター方式を検討します。

事業（取組）名	中学校給食事業【重点事業】 （再掲）	担当課	教育政策課	
		予算額（取組内容に係る予算）	71,660 千円（22,203 千円）	
取組内容	・保護者試食会の開催や人気献立 week など中学校給食の喫食率向上に向けた取組を進めるとともに、中学校期の食の大切さを啓発する。 ・センター方式での給食の実施に向けて、検討及び調査を行う。			
指標名	中学校給食喫食率	R1 実績値	R3 目標値	
		5%	10%	

事業（取組）名	小学校給食事業（再掲）	担当課	教育政策課	
		予算額（取組内容に係る予算）	392,410 千円（392,410 千円）	
取組内容	・食中毒等の防止のため、抜き打ちのふき取り検査や定期的な研修を実施し、手洗い消毒など小学校給食調理場での衛生管理を徹底するよう指導する。 ・衛生管理マニュアル順守徹底を図るため、効果検証会議を適宜行う。			
指標名	食中毒の発生件数	R1 実績値	R3 目標値	
		0 件	0 件	

基本目標
10

地域全体で教育に取り組む体制づくり

子どもたちの生きる力は、学校だけで育めるものではなく、地域社会とのつながりや信頼できる大人との関わりを通して育ちます。学校は「地域とともにある学校づくり」を行い、地域は子どもや学校を見守り支え、相互に連携することで、学校・地域全体で教育力の向上を図ります。

成果指標

	指標名	R1 実績値	R3 目標値	R7 目標値
1	「地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを活かして、学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営などの活動を保護者や地域の人との協働による活動を行っている」と回答した割合 ^{【◆】} （小中学校）	80.0%	84.0%	100%

施策・事業（取組）

②0学校・家庭・地域の連携強化

学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことで、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体になって、特色ある、「地域とともにある学校づくり」を推進します。

事業（取組）名	学校協議会※の積極的運営	担当課	学校教育課	
		予算額（取組内容に係る予算）	—	
取組内容	・学校協議会にて、学校経営計画や学校自己診断、各種調査結果を報告し、学校運営に関する内容について協議する。			
指標名	学校協議会を複数回実施した校数	R1 実績値	R3 目標値	
		15 校/15 校	15 校/15 校	

※学校協議会：保護者や地域住民の声を学校運営に反映し、また校長の求めに応じて、保護者・地域住民・有識者等が様々な視点から意見交換や提言を行う組織。校長が委員を委嘱し、年間を通じて計画的に会議や行事参観等を行う。

事業（取組）名	積極的な情報発信	担当課	学校教育課	
		予算額（取組内容に係る予算）	—	
取組内容	・ 広報課と連携し、学校や地域における児童生徒の活躍や取組を広報紙や Web ページ等で紹介する。			
指標名	「教育課程の趣旨について、学校や地域との共有を図っている。」と回答する学校の割合【◆】		R1 実績値	R3 目標値
			66.7%	73.3%

【◆】 全国学力・学習状況調査質問紙調査における質問項目を指標としています。

事業（取組）名	学校評価※の充実	担当課	学校教育課	
		予算額（取組内容に係る予算）	—	
取組内容	・学校、家庭、地域が連携し、学校運営の改善を図るため、学校経営計画※に基づいた学校評価を実施・公表する。			
指標名	学校評価における保護者アンケート回収率	R1 実績値	R3 目標値	
		82.3%	85.0%	

※学校評価：学校が目標や取組の達成状況を明らかにして、学校運営の改善を図るために行うもの。

「自己評価」「学校関係者評価」「第三者評価」があり、「自己評価」は実施及び公表が法律で定められている。

事業（取組）名	地域学校連携活動支援事業	担当課	子育て支援課	
		予算額（取組内容に係る予算）	4,204 千円（4,204 千円）	
取組内容	・各中学校区の地域教育協議会（すこやかネット）で実施する子どもの見守り活動や行事等を通じて、学校と地域の連携を強化し、地域全体で学校教育を支援する体制づくりを推進する。			
指標名	各中学校区の主行事の参加者数	R1 実績値	R3 目標値	
		1,558 人	2,500 人	

㊴子どもの安全見守り活動の充実

学校・家庭・地域と一体となって、登下校時の交通・防犯の観点で見守り活動を行い、また通学路の安全対策を行うなど、子どもたちの安全を確保します。

事業（取組）名	安全対策事業	担当課	教育政策課	
		予算額（取組内容に係る予算）	18,305 千円（17,527 千円）	
取組内容	・こども安全巡視員が青色防犯パトロールカーによる巡回を行い、街頭犯罪や子どもに対する声かけ事案の抑止を図る。 ・受付ボランティア等が小学校等の校門で受付活動を行い、不審者侵入を防止する。 ・防犯力の向上を図るため、学校管理職のヒアリング等を通じて受付活動における課題を洗い出し、受付員活動マニュアルを改定する。			
指標名	学校運営中の不審者侵入事案	R1 実績値	R3 目標値	
		0 件	0 件	

事業（取組）名	スクールガード・リーダー配置事業	担当課	学校教育課	
		予算額（取組内容に係る予算）	546 千円（ 546 千円）	
取組内容	・登下校時の不審者事案の抑制や危険個所の把握のため、スクールガード・リーダーを配置する。			
指標名	スクールガード・リーダー※巡回数	R1 実績値	R3 目標値	
		101 回	120 回	

※スクールガード・リーダー：子どもたちの安全・安心確保のため、学校や通学路での巡回指導を行うことで危険箇所の把握や改善、児童生徒への安全啓発の中心となる指導員。

事業（取組）名	小中学校通学区事業（再掲）	担当課	教育政策課	
		予算額（取組内容に係る予算）	28,775 千円（23,307 千円）	
取組内容	・交通専従員が 24 箇所登下校中における児童生徒の見守り活動を行い、安全確保に努める。 ・通学路等安全プログラムに基づき、合同点検を実施し、安全対策を行った内容を写真等を用いてホームページで公表する。 ・通学路の安全確保を集中的に行う予算（令和 3 年度新規）を活用して、電柱幕等の設置や交換を行う。			
指標名	通学路における改善要望があった項目のうち、改善可能箇所に対する措置完了率	R1 実績値	R3 目標値	
		100%	100%	

事業（取組）名	地域子ども安全安心事業	担当課	生涯学習課	
		予算額（取組内容に係る予算）	662 千円（662 千円）	
取組内容	・実施者証保持者数を増やし、青色防犯パトロールの活動を活発化させ、子どもの安全対策に取り組む。			
指標名	実施者証保持者数	R1 実績値	R3 目標値	
		—	65 人	

摂津市が配置等している支援人材の一覧

名称	内容	掲載
国際理解教育社会人講師	児童生徒に他国・地域の言語や文化について、活動を通じて説明・紹介を行う。	P. 6
日本語指導講師	海外からの帰国子女及び渡日児童生徒に対する適切な学校教育の機会の確保を図るために母語指導も含めて日本語指導を行う。	P. 6
学校読書活動推進サポーター	児童生徒の読書活動を推進させることを目的とし、学校図書館の環境整備や図書の推薦、教員の読書指導の支援等を行う。	P. 7
I C T 支援員	市内小中学校の教員に対して、タブレット型 PC の活用事例等や授業提案を行う	P. 9
学校経営サポーター	市内小中学校の抱える課題解決に向け、校長の学校経営をサポートし、管理職を含めた O J T による。人材育成を行う。	P. 10
学校教育相談員	経験の浅い教職員の授業、学級経営、生活指導などについての助言を行うため、市内各校への巡回指導を行う。	P. 10
学習サポーター	退職教員、地域人材、学生などが中心の有償ボランティアが子どもたちの学習活動の支援を行う。	P. 11
部活動指導員	部活動の専門的な技術指導による生徒の技術向上と当該部活動の教員の業務時間、精神的な負担軽減を行う。	P. 14
部活動補助員	部活動の専門的な指導技術を持ち合わせている外部人材。部活動顧問の専門的な指導技術のサポートを行う。	—
外国語活動支援員	学期に 2 回程度ずつ各小学校に派遣し、教員の外国語活動・外国語の指導力向上のためのアドバイス等を行う。	P. 16
外国人英語指導助手 (A L T)	英語を母語とする外国人を中学校区に 1 名を通年派遣し、外国語活動や外国語の授業において学級担任や教科担当とのチームティーチングを行う。	P. 16
特別支援教育推進専門員	学校における個に応じた指導と支援を充実させるため、専門家が市内各校を巡回し、指導助言を行う。	P. 18
進路選択相談員	高等学校、専門学校、大学等への進学に際して、経済的理由等により進学または就学を行うことが困難な生徒及びその保護者に対して相談、支援を行う。	P. 19
スクールソーシャルワーカー (S S W)	不登校や問題行動等の課題を抱えた子どもに対して、福祉の視点を取り入れた支援方法を用いて課題解決を行う。	P. 20
スクールカウンセラー (S C)	児童とその保護者を対象に、発達相談や教育相談を行う。	P. 20
さわやかフレンド	不登校の児童生徒に対して、学生・大学院生による有償ボランティアが話し相手や遊び相手、学習補助を行う。	P. 20
障害児等支援員	重度重複障害児童生徒が在籍する学校に配置し、対象児童生徒の生活介助・訓練・作業及び学習指導の補助を行う。	—
教育活動支援員	校長の学校経営方針のもと児童生徒の個別の学習指導や生活指導の支援、集団指導の支援などを行う。	—
家庭教育相談員	不登校や子育て等の悩みや不安を抱く保護者に対して、教員ではない立場で寄り添いながら相談に乗り、支援を行う。	—
教育支援嘱託員	適応指導教室 (パル) に通う不登校の児童生徒を対象に、学習指導や社会的自立のための支援を行う。	—

